



# 玉北小だより

かしこく  
やさしく  
たくましく

小美玉市立玉里北小学校  
平成30年3月1日  
No. 31

さまざまな感動を見せてくれた平昌オリンピックが閉幕しました。帰国した選手の会見の中で「子供たちに目標にしてみてもらえるような姿をこれからも見せられるようにがんばっていきたい」ということばがありました。「〇〇選手のようにになりたい」「オリンピックに出たい」など、夢や希望は目標とする人やあこがれる人との出会いから生まれるのかもしれませんが。本校でも、「〇〇さんみたいに二重跳びができるようになりたい」「□□さんみたいに上手な字を書きたい」など、あこがれからその姿に近づいている子供たちがたくさんいます。朝、昇降口前で子供たちを迎えていると「先生、ぼくの班長、すごいんだよ」と、力があること、足が速いこと、やさしいこと…などを話してくれる子がいます。上級生へあこがれの気持ちをもったこの子は、きっとその姿に近づき、いや、超えるほど成長をしていくことと思います。

6年生とのお別れの月になりました。6年生の姿を見ている5年生の姿があります。「あこがれ」のリレーが続いているように感じる3月です。そこには感謝の気持ちも生まれています。

重く感じるランドセル

六年 先崎 菜季

このごろランドセルがとても重く感じ  
る。一年のころももちろん重くて、姉に持  
ってもらっていた。三年生くらいになると  
ランドセルが軽くなってきたのに、今は急  
にドスンと重くなっている。

中に入っている教科書より重く感じられ  
るのは「卒業」への思いだ。ランドセルが  
六年間の思い出となって自分の肩にくっつ  
いている。もうすぐランドセルを下ろし、  
中学校のカバンに変わる。不安と希望が心  
のコップにつがれていくようだ。不安と希  
望をしっかりと受け止められるだろうか。

ランドセルが思い出になり、思い出が中  
学校のカバンに受け継がれる。春には受け  
継いだカバンを背負い、希望を夢にかえて  
中学校に進みたい。そして、三学期はわた  
したちの思いを、次の六年生に引き継いで  
いきたいと思う。



(三学期の抱負より)

## 小美玉市長 表敬訪問

2月22日(木)小美玉市本庁舎にて  
(市内小学生16名中学生10名 計26名)

平成29年度茨城県統計グラフコンクール  
茨城県企画部長賞  
1年 伊藤紗優音さん

小美玉市よりその成績と努力が認められ、市長様へ直接、製作過程のことや受賞の喜びを報告をしました。おめでとうございます。



## 皆さんはどうお考えになりますか？

2月23日(金)年度末の保護者会にあわせて第2回学校保健委員会が開かれました。富田養護教諭より、今年度の活動報告や来年度の計画、本校児童の実態・課題の説明がありました。本校児童のデータの中で、私は次の2項目が特に気になりました。

朝ごはん 時々食べないことがある	14. 8%
※学年によっては26. 7%の子が欠食することがあるようです	
睡眠時間 6時間未満	6. 1%
※学年によっては19. 0%の子が睡眠時間は6時間未満と答えています。	

※詳細は「学校保健委員会だより」をご覧ください。  
「就寝時刻が遅い→朝すっきり目覚めることができない→朝ごはんを食べたくない、食べる時間がない」という悪循環もあるようです。基本的な生活習慣の乱れは、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。子供たちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。  
子供たちによりよい生活習慣を身に付けていくためには、家庭の役割は大きいと考えます。